

在宅療養支援課の今後の動き

資料2-3

『日野市在宅療養体制構築のための基本方針』に基づき、①周知啓発 ②ネットワークの構築に主眼を置いて進める

令和元年

(2019)

「連携基盤の整備」

多職種連携のルール構築

啓発リーフレットの作成

在宅医療相談会

MCSの普及・啓発

緊急医療救護所の拡充

令和2年度

(2020)

「連携ネットワークの充実①」

多職種連携のルール構築

MCSの普及準備

レスパイト入院の検討

ガイドブックの充実

※コロナ対応

災害歯科の資器材

医療資機材整備

令和3年度

(2021)

「連携ネットワークの充実②」

ガイドブック・動画による周知

MCSの普及啓発

エンディングノートの作成

多職種連携ルールの整備

※コロナ対応

災害医療マニュアルの検討

災害時の人工透析患者対応

平成30年度

- ・在宅療養支援課の開設
- ・日野市在宅療養体制構築のための基本方針の策定
- ・医師会との「地域包括的連携協力に関する協定」の締結
- ・災害医療器具保管庫の整備、災害薬剤の配備



令和3年度の基本的な考え方

コロナ禍を前提とした新しい生活様式における「在宅療養」について、令和2年度の経験をベースにターゲットを絞り事業展開を進める。

①周知啓発

在宅療養に対する市民・関係者の意識の変容へのアプローチ

→コロナ禍により、良くも悪くも病院以外の選択肢としての「在宅療養」への認識を改める機会(ACPの普及啓発 等)

②連携ネットワークの構築

感染予防の観点からオンラインでの情報共有の必要性の増大

→MCSを活用し、24時間365日気兼ねなく情報共有ができる環境の整備

→並行して、関係多職種間の連携ルールの整備の推進

③災害医療への取り組み

地域防災計画の改定に合わせ、(仮)災害医療マニュアルの整備

→緊急時連絡網の整備と連絡ツールの検討(IP無線など)

→人工透析患者への対応